対象学年 中１～中３

関連する教科・単元
①社会の地理的分野、公民的分野
②理科の第１分野
③技術・家庭科の技術分野
④総合的な学習の時間の中の探究学習テーマ

未来思考のＳＦストーリーでエネルギーを学べる！

エネルギータイム！



学習価値

オーディオドラマのストーリーや専門家の先生による動画を見ながら、未来の世界を個人およびグループで想像し、エネルギーに対する理解を深め、また未来のためにどう自分たちが行動していくべきなのかを考えることができる。

授業概要

◎３コマの授業シリーズ。クラスの状況に合わせて、個別に１コマからでも採り入れられるように設計されている。

◎オーディオドラマ 動画『エネタイ！』と専門家による解説動画で学習テーマに迫ることができる。

◎「導入→動画視聴→ワーク（個人＆グループ）→動画視聴→まとめ」の基本展開になっており、オーディオドラマによる興味喚起とワークによる深い学習が両立できる構成になっている。

内容物

●オーディオドラマ動画ファイル：３本
●エネルギーの伝道師・亀田先生動画ファイル：４本
●燃料電池の簡易実験手順動画：１本
●ワークシート（１コマ目３枚、２コマ目４枚、３コマ目３枚）

各回授業のオーディオドラマの大まかな内容

中学生の４人が、ひょんなことから2030年/2050年にタイムスリップするSFショートストーリー。
タイムスリップした先を旅しながらエネルギーの未来を学んだり、自分たちの生活に置き換えて思考するヒントになるような物語。

1 コマ目

ペロブスカイト太陽電池、未来のエネルギー技術

第１話『未来の暮らしはどう変わる？』

2030年の未来にタイムスリップしたヒカリとフーコの２人が、進化した未来の暮らしや発電などエネルギーを知る。

2 コマ目

水素エネルギーの未来、燃料電池の簡易実験

第２話『水素エネルギーで進む未来！』

2050年、水素エネルギーが普及した未来にタイムスリップしたヨータとミズキの２人が、燃料電池車や水素エンジン車、変化する環境などについて知る。

3 コマ目

SDGs、自分たちが未来に対してできること

第３話『僕らの未来は僕らがつくる！』

再び未来に訪れた４人だったが、エネルギーの進化がされず温暖化が進んでしまった状況を目の当たりにする。なぜ、未来が変わってしまったのか？　問題提起する。現代に戻ってきた４人。未来は自分たち次第で変化してしまうことを知り、未来をよくするために自分たちにできること、自分たちが知るべきことは何か？　を考える。

豪華声優陣が演じるキャラクターにも注目です。





授業の採用パターン例

- エネルギーについて思考や実験をしてから精度の高いアクション案を考えさせたい場合 → 1コマ目 / 2コマ目 / 3コマ目
- エネルギーについて、気軽に発散思考で学ばせたい場合 → 1コマ目のみ
- エネルギーの未来について、実験をしながら学ばせたい場合 → 2コマ目のみ
- エネルギーについてのアクションを考えさせたい場合 → 3コマ目のみ

参考（関連する教科・単元の詳細）

①社会〔地理的分野〕〔公民的分野〕
日本の様々な地域（資源・エネルギー・産業・環境）、
私たちと国際社会の諸課題（地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決）

②理科　第１分野
電流とその利用 、化学変化とイオン（化学変化と電池）、科学技術と人間（エネルギーと物質）

③技術・家庭科　〔技術分野〕
エネルギー変換の技術

④総合的な学習の時間
現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題（資源エネルギー、科学技術等に関わる課題）

1 コマ目

未来のエネルギー技術を知ろう！

エネタイ！ 第１話

未来の暮らしは
どう変わる？

関連する教科・単元

①社会の地理的分野　②理科の第１分野
③技術・家庭科の技術分野
④総合的な学習の時間の中の探究学習

授業後の生徒の変化

2030年の近い未来の暮らしを想像し、進化する技術や未来の暮らしの変化に興味を持って調べたくなる。

準備

◎映像視聴の環境
・視聴端末
・映像ファイル
（ドラマ第１話・亀田先生動画２本）

◎ワークシート

注意　ワークシートの枚数

□ワークシート 1-1、1-2 は人数分
□ワークシート 1-3 はグループごとに１枚

	授業構成と指導ポイント	ファシリテーション例 ／ 指導者の活動	学習者の予想される反応
導入 5 分	**●今日学ぶテーマについて先生からひとこと** たとえば「太陽電池」で何か知っていることは？　という問いかけをして、生徒と軽く応答する。 **●学校ですでに学習している前提知識がある場合はそれを振り返る** └「技術」エネルギー変換に関する技術の授業を振り返り、新しい発電方法について考えよう。 └「理科」電池のしくみを振り返り、新しい太陽電池について考えよう。 └「総合」エネルギーについての取り組みを振り返り、これからのエネルギーについて考えよう。 **●オーディオドラマへの前振り** 「太陽電池や発電について考えるために今日はオーディオドラマをみましょう。」などと伝え、オーディオドラマメモのワークシート 1-1 を配る。	①今日の学習が「太陽電池」であることを伝え、知っていることを問いかけ、応えを拾う。 ②「今まで学習したこういうところと関係するね」などと前提知識と紐づける。 ③ワークシートを配ったら、「メモ欄を活用して、スムーズにワークに取り組めるように集中してみよう」と促し、動画視聴を開始する。 ★【配布】：ワークシート 1-1（１枚 / 人）	①ソーラーパネル・メガソーラーなどの知識は出てきそう。もし原理的なところにも興味がありそうな生徒がいたら、専門家の解説動画があるのでお楽しみにと興味喚起する。 ②応答ではなく、紐づけてさらっと流す。 ③ワークシートにオーディオドラマの説明があるので、声優さんなどに詳しい生徒からはそういう情報に反応があるかも。
動画視聴 12 分	**●オーディオドラマ動画視聴《ワークシート 1-1》** **●エネルギーの伝道師・亀田先生動画視聴** 	◎オーディオドラマの動画を流す。続けて「電池についてエネルギーの伝道師の解説が入ります。このあとのワークにもつながるからメモをとろう」などとつないで、亀田先生動画を流す。	
ワーク 25 分	**●個人ワーク（7 分）《ワークシート 1-2》** ワークシート1-2に記載されているエネルギーのキーワード・課題を参考に、2030年に実現してほしい！　と思う発電・充電技術の未来TOP3を書く。 **●グループワーク（13 分）《ワークシート 1-3》** 各自の TOP3 を見せ合い、話し合い、グループの TOP1 を決める。決めた TOP1 について、ワークシート 1-3 に 2030 年のニュースの見出し（17 文字以内）をつくる。 **●クラス内共有（5 分）**	★【配布】：ワークシート 1-2（1 枚 / 人）、ワークシート 1-3（1 枚 / グループ） ①「太陽電池だけでなく「あったらいいな」と思う技術を考えてみよう」などと伝え、個人で TOP３→グループで TOP１→ニュースの見出しというワークの流れを説明する。時間目安を伝える。 ②その後がスムーズになるように、班モードに机をレイアウトすることを促す。 ③ワーク開始を告げる。 ④様子を見て流れを切りクラス内共有へ。机間巡回をもとに何グループか考えたニュースを発表するようにあて、議論のプロセス、ワークに取り組んでみた感想などをシェアするよう促す。	【手が進まない】 １つだけでもいいので自分なりに考えたことをメモレベルでもいいから書こうと促す。 【議論が盛り上がらない】 考えた過程や理由も添えるように促す。 【意見がまとまらない】 折衷案をつくるよう提案したり、２つ以上の見出しをつくってもよいことを告げる。
動画視聴 3 分	**●エネルギーの伝道師・亀田先生動画視聴** └エネルギーの未来を想像することは、楽しい！ 	◎亀田先生のまとめ動画を流す。	
まとめ 5 分	**●今回の学習内容のまとめ** 亀田先生動画を受けて、先生自身のコメントをする。今日学んだことのまとめ、引き続き考えてほしいこと、今後の学びの展望（教科との接続）を伝える。	①「伝道師の先生はこう言っていましたね。先生はこう思う」と、先生なりの感想やメッセージを伝え今日の学習をまとめる。余裕があれば生徒を指名しその生徒の感想をシェアする。 ②①を受けて、引き続き考えてほしいことを伝える。（例：太陽電池について興味を持った人は、今日のメモをもとに家でも調べてみようなど） ③「社会」「理科」「技術」「総合」でこれから太陽電池などのエネルギー技術について学ぶクラスの場合は、今日のことを下地に学びを深めるよう伝える。	◎「技術の未来って考えたことがなかったので、新鮮だった」、などなんでも OK なので、感想をシェアすることで振り返りに意識を向ける。

本授業の参考資料

太陽光発電
（資源エネルギー庁 HP）

再エネ・新エネ全般
（資源エネルギー庁 HP）

評　価

ワークシートを書くシーンでの評価観点：

◎各生徒ならではの考えた痕跡・意欲を見取ってください。
（★特に太陽電池や技術への興味）

◎他の授業のワークシートの取り組みなどとも比較しながら、この授業ならではの各生徒の新鮮な気づきを見取ってください。

ディスカッションをするシーンでの評価観点：

◎他者意見の尊重、グループでまとめあげる協調、考え・アイデアを高め合う姿勢を見取ってください。

2 コマ目 水素エネルギーを知ろう！

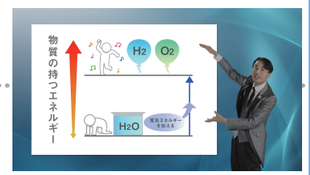
エネタイ！ 第２話 水素エネルギーで進む未来！

関連する教科・単元
①社会の公民的分野　②理科の第１分野
③技術・家庭科の技術分野
④総合的な学習の時間の中の探究学習

授業後の生徒の変化
水素を使ったエネルギーが広がる未来を知りたくなり、未来の社会への興味が湧き上がる。

準備
◎映像視聴の環境
・視聴端末
・映像ファイル
（ドラマ第２話・亀田先生動画１本）
◎ワークシート
◎A の場合：実験キット、実験手順シート

注意　ワークシート、キットの準備
□ワークシート 2–1、2–3A、2–2B は人数分
□ワーク A の場合、実験キットと実験手順シート 2-2A はグループごとに用意（※実験キットの詳細は実験手順シート 2-2A を参照）

	授業構成と指導ポイント	ファシリテーション例 ／ 指導者の活動	学習者の予想される反応
導入 5 分	**●今日学ぶテーマについて先生からひとこと** たとえば「水素」「燃料電池」で何か知っていることは？という問いかけをして、生徒と軽く応答する。 **●学校ですでに学習している前提知識がある場合はそれを振り返る** ┗「社会」エネルギーにまつわる課題を振り返り、解決策を考えよう。 ┗「理科」電池のしくみを振り返り、水素を使ったエネルギーを考えよう。 ┗「総合」エネルギーについての取り組みを振り返り、これからのエネルギーについて考えよう。 **●オーディオドラマ・実験動画への前振り** 「水素を使ったエネルギーについて考えるために今日はオーディオドラマをみましょう。」などと伝え、オーディオドラマメモのワークシート 2–1 を配る。	①今日の学習が「水素」「燃料電池」であることを伝え、知っていることを問いかけ、応えを拾う。 ②理科の実験の授業での体験をヒアリングしたり、「今まで学習したこういうところと関係するね」などと前提知識と紐づける。 ③ワークシートを配ったら、「メモ欄を活用して、スムーズにワークに取り組めるように集中してみよう」と促し、動画視聴を開始する。 ★【配布】：ワークシート 2–1（１枚 / 人）	①燃料電池車や水素エンジン車、水素ステーションなどについて知っている人がいるかもしれません。 ②応答ではなく、紐づけてさらっと流す。 ③ワークシートにオーディオドラマの説明があるので、声優さんなどに詳しい生徒からはそういう情報に反応があるかも。
動画視聴 10 分	**●オーディオドラマ動画視聴《ワークシート 2–1》**	◎オーディオドラマの動画を流す。 	
ワーク 27 分	※実験ワークは２つの方法から選べます。 **A：燃料電池の簡易実験を行う場合** **●実験手順動画視聴（2 分）** **●グループごとに簡易実験（18 分）** 《実験キット、実験手順シート 2-2A》 **●気づき記入とグループ内共有（7 分）** 《ワークシート 2-3A》 注：今回の A・B の実験は水素と酸素の反応で電気を発生させるという燃料電池のおおまかな原理を理解できるものですが、実際の燃料電池とは仕組みが少し異なることも合わせてご指導ください。 **B：NHK for school の実験視聴の場合** **●クラス全体で実験動画視聴（5 分）** 手作り燃料電池で実験ー中学 **●各自の端末で実験動画を見ながらワークシート記入（15 分）** 《ワークシート 2–2B》 **●グループ内共有（7 分）**	**A：燃料電池の簡易実験を行う場合** ①実験手順映像を流す。 ②班モードの机にするよう促す。 ③代表者が実験キットとワークシートをとりにくるよう伝える。 ★【配布】：実験キット（1 セット / グループ） 実験手順シート 2-2A（1 枚 / グループ） ワークシート 2-3A（1 枚 / 人） ④クラスで足並みそろえてやっていくことを伝える。 ⑤実験の様子を見守り適宜注意喚起。 ⑥気づきの記入とグループ内シェアを促し、机間巡回をもとに１～２グループにあて、クラスでシェアする。 **B：NHK for school の実験視聴の場合** ①実験動画（クラス全体）を流す。 ②班モードの机にするよう促す。 ③代表者にワークシートをとりにくるよう伝える。 ★【配布】：ワークシート 2–2B（１枚 / 人） ④再度手元で動画を確認したい人用に、各自端末での動画視聴方法を伝える。 ⑤ワークシート記入を促す。 ⑥グループ内シェアを促し、机間巡回をもとに１～２グループにあて、クラスでシェアする。	【実験や視聴の進捗にばらつきがある】 わかったグループはとまどっているグループのヘルプにまわろうと伝える。 【各自の記入が進まない】 早めに個人ワークを切り上げ、グループで気づきを共有し、学びを深める方向に誘導する。
動画視聴 3 分	**●エネルギーの伝道師・亀田先生動画視聴** ┗水素はエネルギーが高く、水になると落差で電気エネルギーが放出される！	◎亀田先生のまとめ動画を流す。 	
まとめ 5 分	**●今回の学習内容のまとめ** 亀田先生動画を受けて、先生自身のコメントをする。今日学んだことのまとめ、引き続き考えてほしいこと、今後の学びの展望（教科との接続）を伝える。	①「伝道師の先生はこう言っていましたね。先生はこう思う」と、先生なりの感想やメッセージを伝え今日の学習をまとめる。余裕があれば生徒を指名しその生徒の感想をシェアする。 ②①を受けて、引き続き考えてほしいことを伝える。（例：水素を使ったエネルギーについて興味を持った人は、今日のメモをもとに家でも調べてみようなど） ③「社会」「理科」「技術」「総合」でエネルギーや水の電気分解について学ぶクラスの場合は、今日のことを下地に学びを深めるよう伝える。	◎「理科の実験もあながち無駄じゃないんだ」、などなんでも OK なので、感想をシェアすることで振り返りに意識を向ける。

本授業の参考資料
「水素社会」の姿
（資源エネルギー庁 HP）

評　価

ワークシートを書くシーンでの評価観点：
◎各生徒ならではの考えた痕跡・意欲を見取ってください。
◎他の授業のワークシートの取り組みなどとも比較しながら、この授業ならではの各生徒の新鮮な気づきを見取ってください。

ディスカッションをするシーンでの評価観点：
◎他者意見の尊重、グループでまとめあげる協調、考え・アイデアを高め合う姿勢を見取ってください。
（★特に実験時の協働性）

3 コマ目

未来に向かって挑戦できることを考えよう！

エネタイ！ 第３話

僕らの未来は
僕らがつくる！

関連する教科・単元

①社会の公民的分野　②理科の第１分野
③技術・家庭科の技術分野
④総合的な学習の時間の中の探究学習

授業後の生徒の変化

エネルギーの未来を、自分ごととして考えられるようになる。

準備

◎映像視聴の環境
・視聴端末
・映像ファイル
（ドラマ第３話・亀田先生動画１本）

◎ワークシート

注意　ワークシートの枚数

□ワークシートはすべて人数分

	授業構成と指導ポイント	ファシリテーション例／指導者の活動	学習者の予想される反応
導入 5 分	**●今日学ぶテーマについて先生からひとこと** コマ１コマ２を行った場合は、過去２回の授業の内容を生徒にあて振り返る。「SDGs」ついて、知っていることを聞く。エネルギーはどの目標に関わると思う？　という問いかけをして受ける。 **●学校ですでに学習している前提知識がある場合はそれを振り返る** └「総合」エネルギーについての取り組みを振り返り、これからのエネルギーについて考えよう。 **●オーディオドラマへの前振り** 「未来といっても漠然とするからまずはオーディオドラマをみましょう。」などと伝え、オーディオドラマメモのワークシート 3–1 を配る。	①「SDGs」について知っていることを問いかけ、応えを拾う。コマ１コマ２を行ったクラスはそこで学んだことも活かしながら考えようと伝える。 ②「総合」で似たような探究学習を行ったことがあるクラスは「今まで総合でも学習したこういうところと関係するね」などと前提知識と紐づける。 ③ワークシートを配ったら、「メモ欄を活用して、スムーズにワークに取り組めるように集中してみよう」と促し、動画視聴を開始する。 ★【配布】：ワークシート 3–1（１枚 / 人）	①「SDGs」については、いろんな観点で発言があると思うので、発言を受けて、ワークにつながるような一言でしめる。 ②応答ではなく、紐づけてさらっと流す。 ③ワークシートにオーディオドラマの説明があるので、声優さんなどに詳しい生徒からはそういう情報に反応があるかも。
動画視聴 12 分	**●オーディオドラマ動画視聴《ワークシート 3–1》**	◎オーディオドラマの動画を流す。	
ワーク 25 分	**●個人ワーク（12 分）《ワークシート 3–2、3–3》** ワークシート 3-2 に記載されている取り組み事例が、SDGs のどの目標にあたるか考える。それらの事例のうち自分が共感するものを考え、それを土台に自らできるアクションについて考える。 **●グループ内共有（8 分）** 各自で考えたアクションを共有して、互いに感想を言い合う。 **●クラス内共有（5 分）**	★【配布】：ワークシート 3–2、3–3（１枚 / 人） ①まずは個人で❶❷❸を真剣に考えてみることを促す。（ワーク❶は、SDGs の 7,12,13 に関わるものが多いが、生徒たちの自由な読み取りの中で考えてもらえれば） ②いったん時間を切り、班モードの机にしグループでのシェアを促す。（ひとりずつ❷❸を読んで、互いに感想を言ったりしながらまわしていくよう伝える） ③様子を見て流れを切りクラス内共有へ。机間巡回をもとに何グループか、考えたアクションを発表するようにあて、話し合いのポイント、感想などをシェアするよう促す。	【ワーク❸の手が進まない】 共感したものを自分なりにアレンジするのでも OK と伝え、記入を促す。 【議論が盛り上がらない】 意見や感想なども言い合おうと促す。
動画視聴 3 分	**●エネルギーの伝道師・亀田先生動画視聴** └エネルギーの変革の時代に立ち会えるのは超ラッキー。学びは未来につながる！	◎亀田先生のまとめ動画を流す。	
まとめ 5 分	**●今回の学習内容のまとめ** 亀田先生動画を受けて、先生自身のコメントをする。今日学んだことのまとめ、引き続き考えてほしいこと、今後の学びの展望（教科との接続）を伝える。	①「伝道師の先生はこう言っていましたね。先生はこう思う」という先生なりの感想やメッセージを伝え、今日の学習をまとめる。余裕があれば、生徒を指名しその生徒の感想をシェアする。 ②①を受けて、引き続き考えてほしいこと（例：考えたアクションはこの授業で終わりではなく、実際にできる小さいこと、たとえば調べることやイベントに参加してみることなど、なにかアクションをしてみよう）を伝える。 ③「総合」などでもこれから SDGs や未来アクションについて学ぶクラスの場合は、今日のことを下地に学びを深めるよう伝える。	①「けっこう自分でもできることがあるかもなんて思った」、などなんでも OK なので、感想をシェアすることで振り返りに意識を向ける。





本授業の参考資料

地球温暖化・省エネルギー
（資源エネルギー庁 HP）

評　価

ワークシートを書くシーンでの評価観点：

◎各生徒ならではの考えた痕跡・意欲を見取ってください。
（★特に未来に対する自分ごと化・理由の記述）

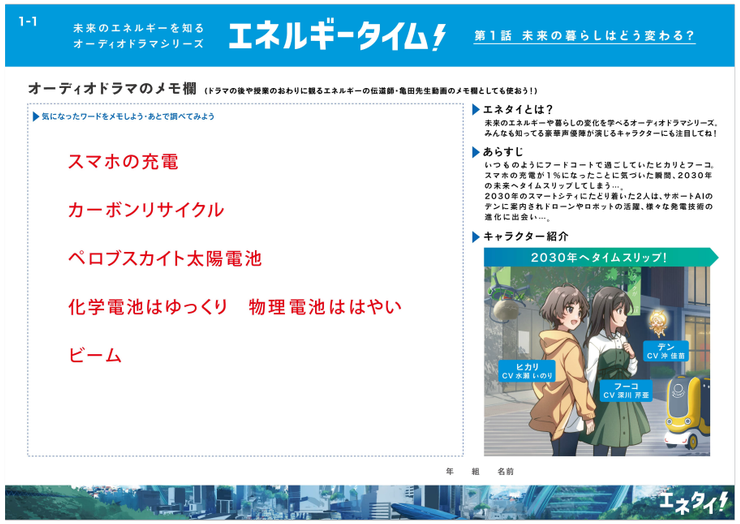
◎他の授業のワークシートの取り組みなどとも比較しながら、この授業ならではの各生徒の新鮮な気づきを見取ってください。

ディスカッションをするシーンでの評価観点：

◎他者意見への傾聴と尊重、考え・アイデアを高め合う姿勢を見取ってください。

ワークシートの記入例

ワークシート 1–1

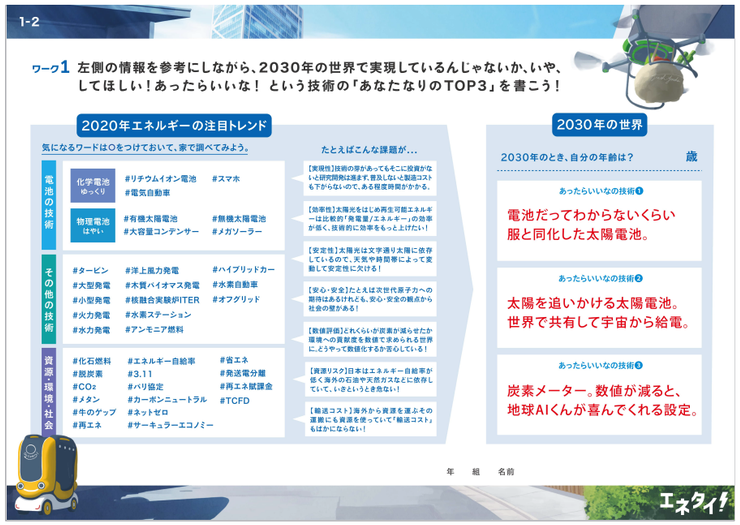


【記入について補足】　メモ欄の中は自由に書いて大丈夫です。記入後は、家で調べたい生徒用にしばらく生徒保管でもいいですし、クラスの状況によっては授業後、先生が一旦回収しても構いません。気になったワードの集積がクラスの学びにうまくつながるようにしていただければと思います。

【生徒への声かけ例】「メモ欄はドラマの演出についてでも、学習内容についてでも、なんでも OK ！箇条書きで書けばいいよ。」

【評価観点】　ドラマに対する興味関心の態度を見取ってください。

ワークシート 1–2

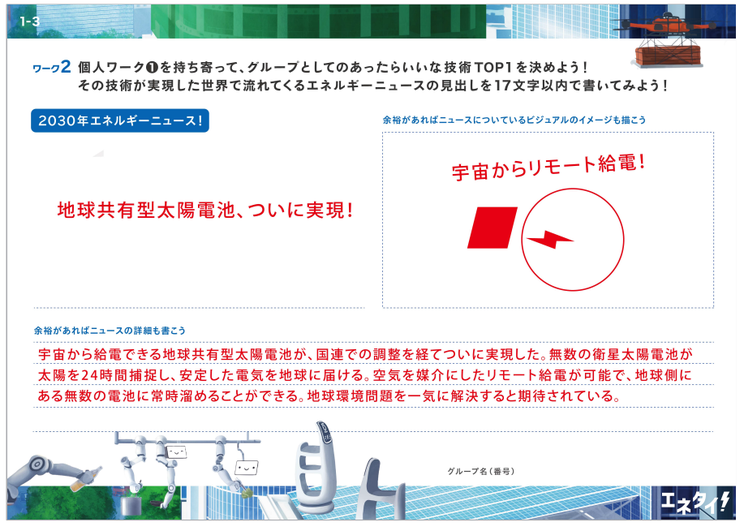


【記入について補足】　情報量が多いので、悩むかもしれません。あくまでヒント情報なので、オーディオドラマを見て、SF思考、発散思考で、素朴にあったらいいなと思う技術アイデアが書ければよいです。

【生徒への声かけ例】「左側はじっくり読まなくてOK。実現性は深く考えず、あったらいいな！　を書こう。なんでもいいよ。」

【評価観点】　その生徒なりの関心領域やアイデア出しを楽しんでいるかを見取ってください。

ワークシート 1–3　グループに１枚



【記入について補足】　見出しが書ければよいです。ワークシート内に記入があるように、サムネイルやニュース詳細は余裕があるグループだけで構いません。

【生徒への声かけ例】「見出しが書ければ OK。早めに決まったチームは、ビジュアルや詳細に挑戦しよう。班の中で分担してもいいね」

【評価観点】　授業中の様子やその班における各生徒の TOPO3 とも比較しながら、議論の様子を見取ってください。

メモ欄

ワークシートの記入例

ワークシート 2–1

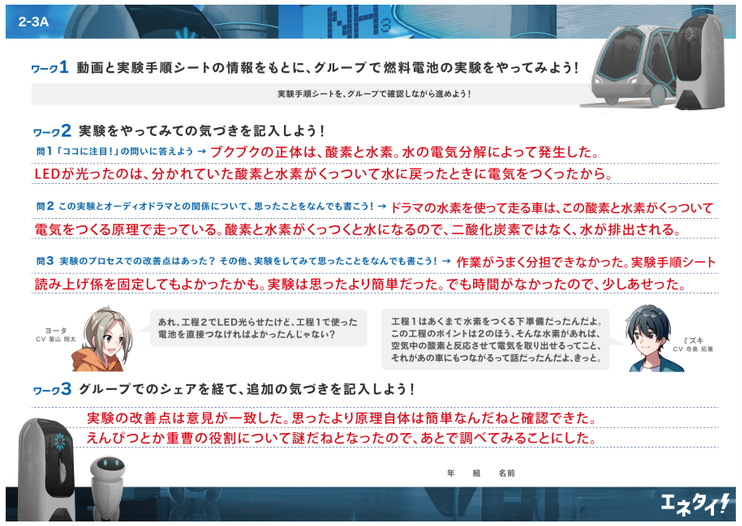


【記入について補足】　メモ欄の中は自由に書いて大丈夫です。記入後は、家で調べたい生徒用にしばらく生徒保管でもいいですし、クラスの状況によっては授業後、先生が一旦回収しても構いません。気になったワードの集積がクラスの学びにうまくつながるようにしていただければと思います。

【生徒への声かけ例】「メモ欄はドラマの演出についてでも、学習内容についてでも、なんでも OK ！箇条書きで書けばいいよ。」

【評価観点】　ドラマに対する興味関心の態度を見取ってください。

ワークシート 2–3A　A：燃料電池の簡易実験を行う場合

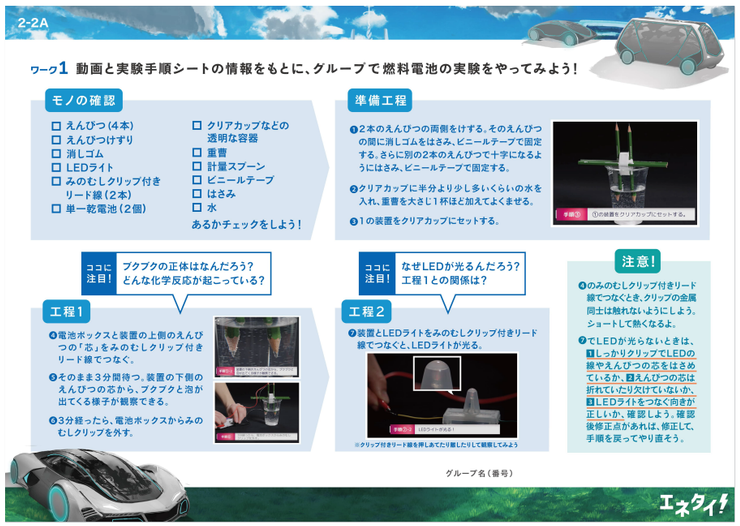


【記入について補足】　ワーク❷❸は、個人で記入します。❷の記入が終わっていなくても、時間がきたらグループ内共有に移るよう促してください。グループでの共有後の気づきは❸に記入するよう促してください。

【生徒への声かけ例】「はい、じゃあ、まだ記入終わってなくてもいったんグループ共有に移ろう。」

【評価観点】　実験そのものやオーディオドラマとの関連（今回のテーマ）に対する生徒の理解度を見取ってください。

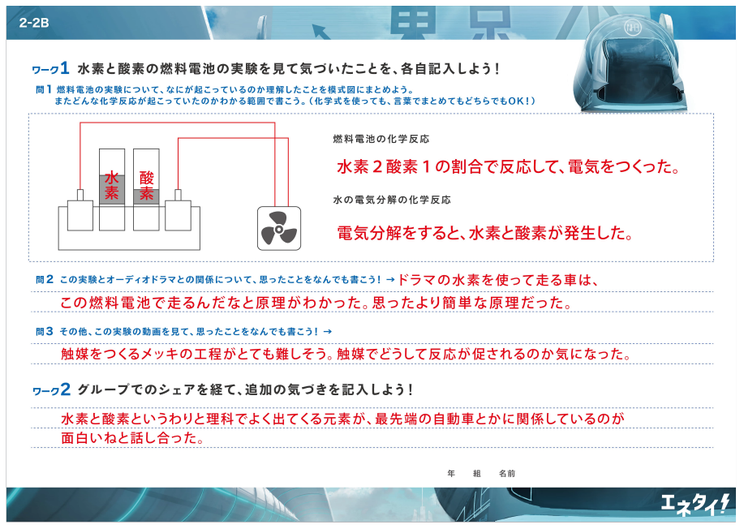
実験手順シート 2–2A　A：燃料電池の簡易実験を行う場合　グループに１枚



【記入について補足】　実験手順シートなので、生徒の記入はしなくても構いません。隙間にメモをとらせましょう。授業後の扱いは、先生にお任せいたします。

【生徒への声かけ例】「グループでうまく共有しながら、実験を進めていこう。」

ワークシート 2–2B　B：NHK for school の実験視聴の場合



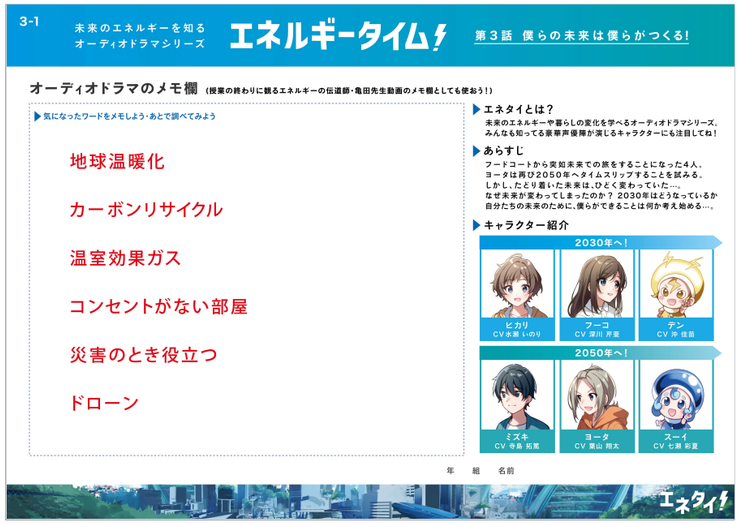
【記入について補足】：個人で記入します。❶の記入が終わっていなくても、時間がきたらグループ内共有に移るよう促してください。グループでの共有後の気づきは❷に記入するよう促してください。

【生徒への声かけ例】：「はい、じゃあ、まだ記入終わってなくてもいったんグループ共有に移ろう。」

【評価観点】：　実験そのものやオーディオドラマとの関連（今回のテーマ）に対する生徒の理解度を見取ってください。

ワークシートの記入例

ワークシート 3–1



【記入について補足】　メモ欄の中は自由に書いて大丈夫です。記入後は、家で調べたい生徒用にしばらく生徒保管でもいいですし、クラスの状況によっては授業後、先生が一旦回収しても構いません。気になったワードの集積がクラスの学びにうまくつながるようにしていただければと思います。

【生徒への声かけ例】「メモ欄はドラマの演出についてでも、学習内容についてでも、なんでも OK ！箇条書きで書けばいいよ。」

【評価観点】　ドラマに対する興味関心の態度を見取ってください。

ワークシート 3–2



【記入について補足】　ワークシート3–3の情報を参考にしながらSDGsの17の目標番号を記入します。いくつ記入してもいいですし、ここでは明確な正解は特にありません。生徒が何番だと思ったかの思考過程が大事になります。

【生徒への声かけ例】「番号はいくつでもOK。正解はないから、自分が関係していると思う番号を書いていこう。」

【評価観点】　自分の考えで番号が書けているか、読んで何かを感じたであろう過程を見取ってください。

ワークシート 3–3



【記入について補足】　SDGs のロゴはワークシート 3–2 の参考に使います。ワーク❷❸は SDGs の番号を意識しなくてもよいですが、もし余裕があればもちろん考えさせてもよいです。今回考えたい未来はあくまでエネルギーに関連する未来です。そのテーマ・制約は生徒に伝えてください。

【生徒への声かけ例】「今回考えるアクションは、なにかしらエネルギーに関わるアクション。６人のアクションも参考にしよう。」

【評価観点】　自分なりのアクションが記入できているか、「なぜなら」から思考過程を見取ってください。

メモ欄